

## 5-5. ロケータや治具の取付

- ・ チャックボデー表面にロケータや治具を取り付ける場合は、図 12 に示す追加工範囲内にタップまたは穴明けを行ってください。

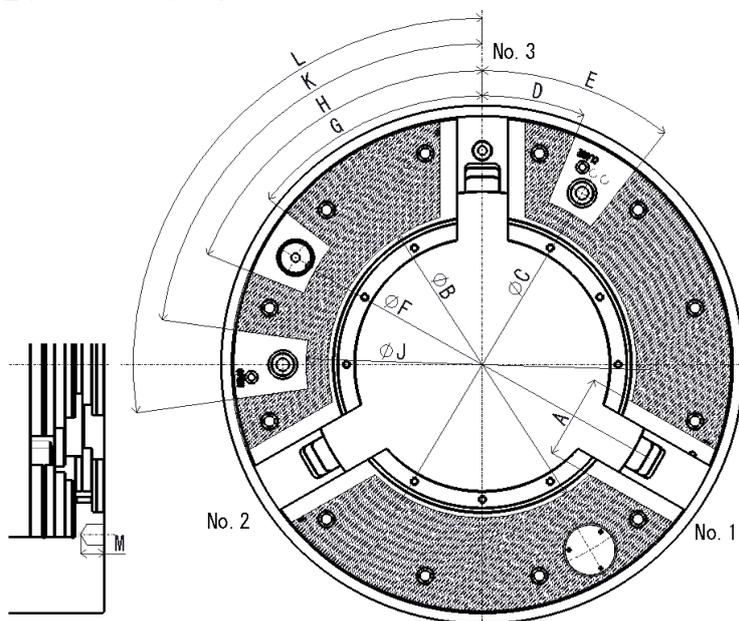


図 12

表 6

	UPR530A185	UPR600A275	UPR650A325	UPR710A375
A	100	100	120	120
$\phi B$	274	364	419	469
$\phi C$	325	415	473	535
D°	20	22	22	24
E°	40	38	38	36
$\phi F$	363	453	525	565
G°	50	52	52	54
H°	70	68	68	66
$\phi J$	325	415	473	535
K°	80	82	82	84
L°	100	98	98	96
M	28	28	31	31

(mm)

### **⚠ 危険**

- 許可された範囲以外のチャックの改造をしてはならない。チャックが破損するだけでなく、チャックや工作物が飛散する恐れがあり、危険。
- ロケータまたは治具には遠心力による飛散防止対策(ドウエルピン等)を施し、十分な強度のボルトで取り付けること。ロケータや治具が飛散する恐れがあり、危険。